

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料2-1

協議会名:茅野市・原村地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
アルピコ交通(株)	メルヘン街道バス	<p>持続可能な公共交通に向け、段階的に進めてきた両地域の交通体系の改善により、令和6年4月から現行交通体系による体系となり、合わせて従来から取り組んでいる市内全路線の時刻表作成や市HPに路線別の路線図、時刻表、バスやデマンド交通の乗り案内など利用促進に向けた情報発信にも取り組んだ。</p> <p>さらに、事業評価結果を踏まえ、利用実績の把握や利用者アンケートによる問題点の把握などを行い、路線バスでは新規停留所の追加、デマンド交通については利便性向上に向けた改善にも取り組んだ。</p>	A	計画どおり事業は適切に実施された。	<p>目標5項目に対する達成状況は「住民1人あたりのバス・デマンドの利用者数」、「バス・デマンド運行の収支率」となっている。ただし、「住民1人あたりの茅野駅乗車回数」は前年度実績を上回り目標に向かう傾向を示している。</p> <p>また、「利用者1人あたり公的負担額」についても、茅野市では目標を達成している。</p> <p>■住民1人あたりの茅野駅乗車回数 目標値 21.3回/年 ⇒ 実績 19.4回/年(前年度実績 18.3回/年)</p> <p>■住民1人あたりのバス・デマンドの利用者数 目標値 2.1回/人年 ⇒ 実績 2.7回/人年(前年度実績 2.4回/人年)</p> <p>■GTFS整備率 目標値 100% ⇒ 実績 63.6%(前年度実績 63.6%)</p> <p>■バス・デマンド運行の収支率 茅野市 目標値20.7% ⇒ 実績 20.9%(前年度実績 27.1%) 原村 目標:10.0% ⇒ 実績 10.5%(前年度実績 11.4%)</p> <p>■利用者1人あたり公的負担額 茅野市 目標値 1,260円 ⇒ 実績 1,067円(前年度実績 1,306円) 原村 目標値 2,250円 ⇒ 実績 2,453円(前年度実績 1,695円)</p> <p>※1:目標値の目標年度は令和10年度 ※2:前年度は現運行形態の完全移行前の値</p>
アルピコ交通(株)	御狩野線(通学支援便)		A	計画どおり事業は適切に実施された。	
アルピコ交通(株)	通学・通勤バス 米沢線		A	計画どおり事業は適切に実施された。	
アルピコ交通(株)	通学・通勤バス 泉野・玉川線		A	計画どおり事業は適切に実施された。	
茅野バス観光(株)	穴山・原村線		A	計画どおり事業は適切に実施された。	
茅野バス観光(株)	通学・通勤バス 丸山線		A	計画どおり事業は適切に実施された。	
茅野バス観光(株)	通学・通勤バス ピアみどり線		A	計画どおり事業は適切に実施された。	<p>今後も、地域全体の公共交通体系を持続可能なものとするため、利用状況や利用者意識の把握により、改善に向けた検討、取り組みを行っていく予定である。</p> <p>併せて、利用促進に向けても地域一帯で取り組み、持続可能な交通体系の検討を進展させる。</p> <p>また、路線などは利用形態を踏まえ、通学・通勤バスでは、学生の移動手段を確保するため、地域住民やPTAで継続的な協議を行いつつ運行を継続していくとともに、新入学生なども含めたバス利用の呼びかけなど、利用者増加に向けた取り組みを行っていく。</p>

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名:茅野市・原村地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
アルピコタクシー(株)	乗合オンデマンド交通 のらざあ【茅野市】	持続可能な公共交通に向け、段階的に進めてきた両地域の交通体系の改善により、令和6年4月から現行交通体系による体系となり、合わせて従来から取り組んでいる市内全路線の時刻表作成や市HPIに路線別の路線図、時刻表、バスやデマンド交通の乗り案内など利用促進に向けた情報発信にも取り組んだ。 さらに、事業評価結果を踏まえ、利用実績の把握や利用者アンケートによる問題点の把握などを行い、茅野市においては、車椅子対応の車両の導入、増台など利便性向上に向けた改善にも取り組んだ。	A	計画どおり事業は適切に実施された。	<p>目標5項目に対する達成状況は「住民1人あたりのバス・デマンドの利用者数」、「バス・デマンド運行の収支率」となっている。 ただし、「住民1人あたりの茅野駅乗車回数」は前年度実績を上回り目標に向かう傾向を示している。 また、「利用者1人あたり公的負担額」についても、茅野市では目標を達成している。</p> <p>■住民1人あたりの茅野駅乗車回数 目標値 21.3回/年 ⇒ 実績 19.4回/年 (前年度実績 18.3回/年)</p> <p>■住民1人あたりのバス・デマンドの利用者数 目標値 2.1回/人年 ⇒ 実績 2.7回/人年 (前年度実績 2.4回/人年)</p> <p>■GTFS整備率 目標値 100% ⇒ 実績 63.6% (前年度実績 63.6%)</p> <p>■バス・デマンド運行の収支率 茅野市 目標値20.7% ⇒ 実績 20.9% (前年度実績 27.1%) 原村 目標:10.0% ⇒ 実績 10.5% (前年度実績 11.4%)</p> <p>■利用者1人あたり公的負担額 茅野市 目標値 1,260円 ⇒ 実績 1,067円 (前年度実績 1,306円) 原村 目標値 2,250円 ⇒ 実績 2,453円 (前年度実績 1,695円)</p> <p>※1:目標値の目標年度は令和10年度 ※2:前年度は現運行形態の完全移行前の値</p> <p>今後も、地域全体の公共交通体系を持続可能なものとするため、利用状況や利用者意識の把握により、改善に向けた検討、取り組みを行っていく予定である。 併せて、利用促進に向けても地域一帯で取り組み、持続可能な交通体系の検討を進展させる。</p>
茅野バス観光(株)	乗合オンデマンド交通 のらざあ【茅野市】		A	計画どおり事業は適切に実施された。	
第一交通(株)	乗合オンデマンド交通 のらざあ【茅野市】		A	計画どおり事業は適切に実施された。	
諏訪交通(株)	乗合オンデマンド交通 のらざあ【茅野市】		A	計画どおり事業は適切に実施された。	
諏訪交通(株)	乗合オンデマンド交通 のらざあ【原村】		A	計画どおり事業は適切に実施された。	

## 資料2-2

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	茅野市・原村地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>茅野市・原村は長野県の南側、南信地方に位置し、面積は309.85km<sup>2</sup>(茅野市:266.59 km<sup>2</sup>、原村:43.26km<sup>2</sup>)、令和2年国勢調査における人口は64,080人(茅野市:56,400人、原村:7,680人)で通勤通学、医療、買い物などの日常生活において密接な関連を持った市村である。</p> <p>両市村の住民の移動手段は、マイカーに大きく依存しているものの、車を運転できない方などにとっては、地域内のバス交通は欠かすことができないものであるが、近年、民間バス路線が不採算路線としての申し入れが相次いでなされた。</p> <p>このため、両市村では平成22年より協働で、「安全安心意識の高まり、高齢化の進展等の中で、通学・通勤・通院・買物を中心とした住民の日常生活の移動手段を確保維持」を目指し取り組んできており、令和6年3月に策定した「茅野市・原村地域公共交通計画」に基づき、地域間幹線系統「本線(岡谷・茅野線)」に接続するフィーダー系統の維持・確保により生活交通ネットワークの構築を進めている。</p>